

熱中症予防と高い防護性能を一体化

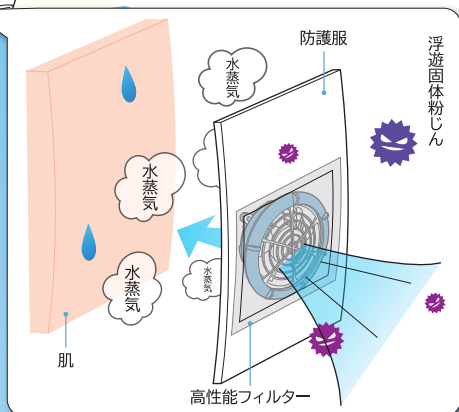
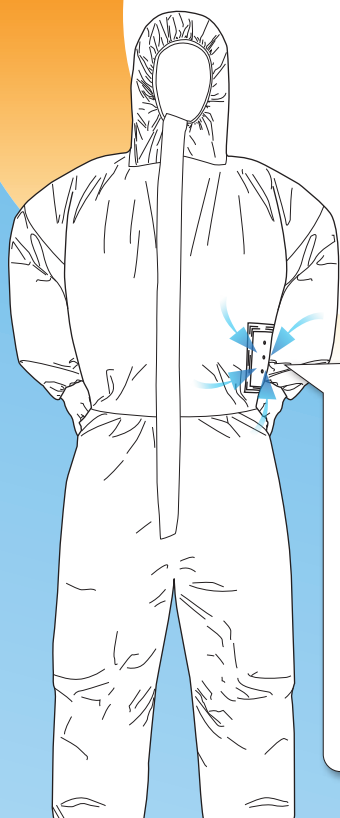
新開発の化学防護服は、専用小型ファン取り付け可能

AS-COOLTM

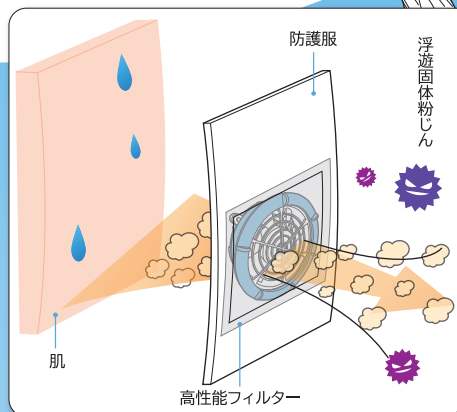
化学防護服（ファン取付可）

JIS T 8115：2015 タイプ 5 適合品

まるで呼吸する防護服



正転



逆転

本製品の仕組み

本製品は、JIS T 8115:2015 タイプ 5 に適合した化学防護服であり、空気中に浮遊する固体粉じんに対して優れたバリア性能を発揮します。

- 専用ファンを使用することで、正転時は高性能フィルターを介して粉じんを効果的に遮断しながら外気を取り込み、着用者の発汗を蒸発させ気化熱により体温を効率的に低下させます。
- 逆転時には衣服内の高温多湿な空気を迅速に排出させ、防護服内部の湿度を低減させ快適に保ちます。
- 繰り返しにより、高粉じん環境下の長時間作業においても、優れた快適性と高い防護性能の両立を実現し、熱中症予防に効果を発揮します。

WBGTによる温度基準域

注意	警戒	厳重警戒	危険
25℃未満	25℃以上 28℃未満	28℃以上 31℃未満	31℃以上

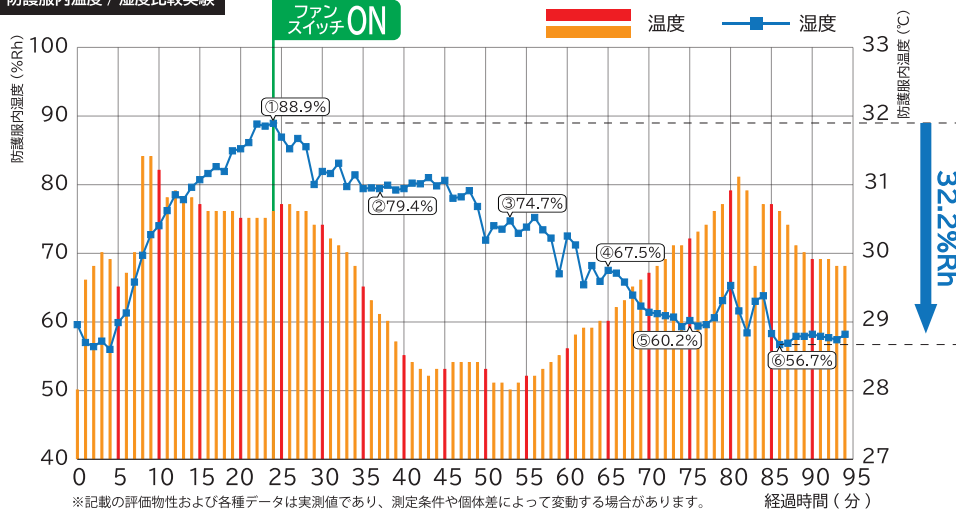
室内用のWBGT簡易推定図Ver.4

		相対湿度【%】											
		45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
気温 【℃】	36	29	30	31	31	32	33	33	34	34	35	35	36
	35	28	29	30	30	31	32	32	33	33	34	34	35
	34	28	28	29	30	30	31	31	32	32	33	34	34
	33	27	27	28	29	29	30	30	31	31	32	33	33
	32	26	26	27	28	28	29	29	30	31	31	32	32
	31	25	26	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31
	30	24	25	25	26	26	27	28	28	29	29	30	30
	29	23	24	24	25	25	26	27	27	28	28	29	29
	28	22	23	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28
	27	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27
	26	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26

【注意】この図は「日射のない室内専用」です。屋外では使用できません。
また、室内でも日射や発熱体のある場合は使用できません。そのような環境では、黒球付きのWBGT測定器等を用いて評価して下さい。

日本生気象学会：日常生活における熱中症予防防指針 Ver.4 2022

防護服内温度 / 湿度比較実験



※記載の評価特性および各種データは実測値であり、測定条件や個体差によって変動する場合があります。

評価条件（当社測定値）

- 環境条件：27℃/55%Rh（室内）
- 一般的なTシャツとズボンを着用
- 保護具：長靴
- 運動強度：足踏み 94 分

評価結果

防護服内湿度 最大 32.2%Rh 低減

相対湿度【%】

		55	60	65	70	75	80	85	90
		32	27	28	28	29	29	30	31
気温 【℃】	31	26	27	27	28	29	29	30	30
	30	25	26	26	27	28	28	29	29
	29	24	25	26	26	27	27	28	28
	28	24	24	25	25	26	26	27	27

拡大図

ファンスイッチ ON